

般石城商工時報

時事漫言

渡邊 源吉

東部電力平支店長武田精一君の努力に依つて例年、櫻花の折に松ヶ岡公園、新川畔に一大不夜城を現出すべき花見廣告電燈は今年も經費の關係から中止するとの話であつたが各區長其の他からの懇請もあつたとかで又もや武田君一流の犠牲的精神を發揮して本年も廣告電燈を点すことになつた。美しき電燈の光りが無かつた時の公園の夜の寂しさを考へて充分、町民各位が花見電燈のために應援してやる必要があると思ふ。

花のは、えみと共に一陽來復して世の中の景氣も漸く少しづつ恢復して來るらしいのは、欣しい平町も昨今、各商店とも多少の活氣を呈して來た、しかし永らくの不況の痛手は仲々に癒ゆべくもないが少しづつ景氣恢復の兆の現れた事は近く來るべき眞の好景氣の前兆として充分の注目と覺悟がなければならぬ。

平町に物産陳列館と簡易圖書館と集會所の様なものを建設したいと云ふ議が昨今、ポツポツ起きて來た、方法設備さへ宜しければ頗るよいと考へ、しかし富豪連は案外、賛成の意を表してゐない。

警時事究研會

城炭礦を視察の筈

在平町旬刊紙の主腦者を以て組織されてゐる警時事究研會は及ぼす影響等につきて研究討論倍するの志願者を得て愈々校運の隆昌を來してゐる。

片濱と平との交通機關問題

片濱軌道は經營上に大疑点あり 充分の考慮と冷靜な研究が必要

片濱方面と平町との交通機關がならぬだけ經營上の疑点があらうと推測される。更らに豐間村を除く外は高久村の如きも酒屋などが軌道が必要とする向きであるが實際は平町から片濱軌道を江名から豐間まで延長し、見町新屋敷まで軌道を敷設するにせよ、終点から更に馬場間、平間は鈴木辰三郎、井上ことし資本金二十五萬圓の會社を設立認可を主務省へ申請して、減せられない、飯野に至つては、理を縣で行ふ事に決定し本年中に鐵道省では經營覺束なかに全熱がない、こうして見ると、此の間に此の區間は乗合自動車貨物自動車運轉せしめる、豊間から誤解される点があるのではあるまいか、よく打解けて交つて見れば案外其やうな怪腕家でもないらしい、そのために政黨的にも勉めて自己の立場を有利にしやうとするために灰色にしてゐるから都合のよい時には政憲兩派から有利に扱はれるが、マな場合に兩派から挾撃される破目に陥る場合もある、此の点は今少し考慮の余地がある、しかし何しろ裸一貫から叩き上げて能く今日の地位を築き上げ

警越銀行頭取

中野甲藏氏

警越頭取中野甲藏氏は所謂給仕から叩き上げた今日世間の人である、併し氏は案外一本調子な處があるの、雅氣愛すべき可愛い處があるが殊更に自己を大きく見せやうとする態度と余りに世評を恐れ過ぎる結果、却つて

世間から誤解される点があるのではあるまいか、よく打解けて交つて見れば案外其やうな怪腕家でもないらしい、そのために政黨的にも勉めて自己の立場を有利にしやうとするために灰色にしてゐるから都合のよい時には政憲兩派から有利に扱はれるが、マな場合に兩派から挾撃される破目に陥る場合もある、此の点は今少し考慮の余地がある、しかし何しろ裸一貫から叩き上げて能く今日の地位を築き上げ

平陽校の名聲

平町交通機關を設備した上で到底、乗客も荷物もあるに至つて始めて豊間、平間の軌道敷設を断行しても決して遅くもないし、又た最も安全なる方針ではあるまいか、今急に無理な大資本を投じて經營上の大疑点を思はする軌道設置よりも漸を追つて進む消極的のこの案が安全だらうと云ふのが公平にして冷靜なる有識者間の意見であるらしい。

養命酒の偉効

平町六丁目山邊藥局から今回賣出した養命酒は古來から靈効ありと言はれた秘製材料とし支那人より傳授された秘法を以て三百年來の家傳となつて、信州の天龍館の醸造を以てしても、需要に應じ切れぬと云ふ程の好評を博したもので、營養化學上偉効ありと云ふのは學者間の定論となつてゐる位である。

祝本社創立一週年 (其の二)

平デパートメントストア

雜誌書籍文具百貨
中央傷害火災石城代理店
便利燈東北一手販賣店
前(電話六番)

丸市屋

御料理 丸市屋
七丁目

三國屋

果實商
平町三丁目
電話四五番

織田末松商店

木羽問屋
丸通運送店取引店
日野ハナ
常磐線驛前

平電気株式會社

電氣器具
金物一切
平驛前(電話特長四二八番)

三幸堂

各社四月新譜
お面白レコードが澤山到着しました
各レコードは専門の
平町二丁目

白馬の雪 勿來正宗

酒銘
鶴仙醸造元
松吉屋本店
平窪村(電話二四番)